

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営の基本方針

迅速果断な意思決定のもと強靱な経営体制を築き、健全で信頼される企業として社会に貢献

売上高  
420億円

営業利益  
55億円

ROE  
8.0%以上

新規事業規模  
50～100億円

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 事業の持続的成長

半導体用高純度薬液の販売拡大と生産拠点検討、通信関連など成長分野への展開、濃縮ホウ酸の日本・欧州・北米への販売拡大

## 2. 新規事業の創出

フッ素化学の独自技術による新規薬液開発、細胞培養容器・ナノ粒子の高機能化、フロー合成法の確立と高付加価値製品開発

## 3. 資本コスト意識の経営

ROE8.0%以上達成に向け、利益成長と適切な財務体質・株主還元を実施

## 4. 経営基盤の強化

人的資本・自律型人材育成、5つのマテリアリティと気候変動対応、デジタル化による業務効率化

## ③ 対処すべき課題

## ① 市場環境への対応

- ・地政学的リスク・原材料価格高騰への対応
- ・中国を中心とした海外景気減速への対応
- ・カントリーリスク勘案した販売多角化

## ② 事業競争力の維持強化

- ・高純度薬液の品質・安定供給維持
- ・研究開発部門の人的リソース・ファシリティ強化
- ・競合他社との差別化戦略

## ③ 研究開発の事業化推進

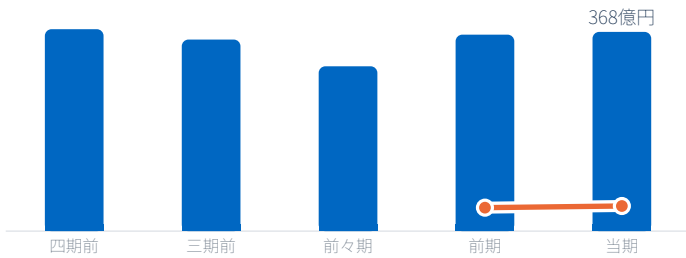
- ・営業部門との連携強化によるマーケティング視点確保
- ・生産部門との連携による生産移管プロセス効率化
- ・アカデミアとの連携強化と研究開発拠点増設検討

## 面接で使えるポイント

- ・半導体用高純度薬液で高い品質と安定供給を強みに、国内外の投資計画に対応した販売拡大を推進
- ・2030年代半ばに50～100億円規模の新規事業創出を目指し、フッ素化学の独自技術を活かした製品開発に注力
- ・2028年3月期にROE8.0%以上達成を目指し、資本コスト意識した経営と企業価値向上を重視

証券コード 4109

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
368億円営業利益率  
12.6%財務健康度  
70点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 60.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
732万円

化学内 92位/204社

平均年齢  
39.53歳

化学内 177位/204社

平均勤続  
15.18年

化学内 128位/204社

女性管理職  
5.9%

化学内 94位/173社

男性育休  
66.6%

化学内 119位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ステラケミファ(株)【4109】：決算情報

